

科目名	スポーツ外傷・障害の基礎知識 1							年度	2024
英語科目名	Introduction to Sport Injuries and Pathologies 1							学期	通年
学科・学年	スポーツトレーナー科 1 年次	必／選	選※	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	本郷・安	教員の実務経験		有	実務経験の職種		アスレティックトレーナー・スポーツドクター		
【科目の目的】 (公財) 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー必修科目。怪我の予防・応急処置・アスレティックリハビリテーション・コンディショニングを指導するアスレティックトレーナーとして、必要な知識である「スポーツ外傷・障害」に関してを学ぶ事を目的とします。									
【科目の概要】 スポーツで起こりうる外傷全般と年齢・性別によるスポーツ障害の特徴、それに対する整形外科的メディカルチェックについて学びます。									
【到達目標】 A. 上肢について B. 体幹について C. 下肢について									
【授業の注意点】 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験できません。									
評価基準＝ルーブリック									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている	レベル2 ふつう		レベル1 もう少し					
到達目標 A	理解と暗記が出来る 90点以上	理解と概ねの暗記が出来る 75点以上		理解している 60点以下					
到達目標 B	理解と暗記が出来る 90点以上	理解と概ねの暗記が出来る 75点以上		理解している 60点以下					
到達目標 C	理解と暗記が出来る 90点以上	理解と概ねの暗記が出来る 75点以上		理解している 60点以下					
【教科書】 JSPO-AT教本『スポーツ外傷・障害の基礎知識』									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 筆記・課題・平常点									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		スポーツ外傷・障害の基礎知識 1				年度	2024
英語表記		Introduction to Sport Injuries and Pathologies 1				学期	通年
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	上肢の怪我	上肢スポーツ外傷・障害	1	肩関節前方脱臼	肩関節前方脱臼の理解	1	
			1	肩関節腱板損傷	肩関節腱板損傷の理解		
2			1	投球肩障害	投球肩障害の理解	1	
3			1	肘関節MCL損傷	肘MCL損傷の理解	1	
			1	外側・内側上顆炎	外側・内側上顆炎の理解		
4			1	手関節捻挫	手関節捻挫の理解	1	
5			1	TFCC損傷	TFCC損傷の理解	1	
			1	手指捻挫	手関節捻挫の理解		
6			1	その他	上肢その他怪我の理解	1	
7	体幹の怪我	体幹の外傷・障害	1	頸椎捻挫	頸椎捻挫について	1	
			1	バーナー症候群	バーナー症候群について		
8			1	頸椎椎間板ヘルニア	頸椎椎間板ヘルニアについて	1	
9			1	腰椎椎間板ヘルニア	腰椎椎間板ヘルニアについて	1	
			1	腰椎分離症	腰椎分離症について		
10			1	筋・筋膜性腰痛	筋・筋膜性腰痛について	1	
11	下肢の怪我	下肢の外傷・障害	1	膝半月板損傷	膝半月板損傷について	1	
			1	膝MCL損傷	膝MCL損傷について		
12			1	ACL/PCL損傷	膝ACL／PCL損傷について	1	
13			1	肉離れ・打撲	肉離れ・打撲について	1	
			1	腸脛靭帯炎	腸脛靭帯炎など膝周辺の障害について		
14			1	膝軟骨損傷	膝軟骨損傷について	1	
			1	アキレス腱断裂	アキレス腱断裂について		
15			1	その他外傷・障害	その他、外傷・障害について	1	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等